

別表3「こち亀」連載年表

年	社会情勢	できごと	「ジャンプ」の展開	秋本の他作品	「こち亀」の展開	特徴的な下町描写	秋本の発言、意識	この時期の作品の特徴
1976	安定成長づく	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロッキード事件 <p><社会・世相・文化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植村直巳が北極圏を単独踏破 ・VHS ビデオデッキ発売 ・ヤマト運輸、宅急便サービス開始 ・『山口さんちのツトムくん』や『およげ！たいやきくん』がヒット ・モントリオール・オリンピック開催 	※「ジャンプ」188万部	・読切『交通安全'76』掲載（「ジャンプ」36号）	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「週刊少年ジャンプ（以下「ジャンプ」）」29号誌上に読切が掲載される（第1話） ・「ジャンプ」42号から連載開始（以降無休載） 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●亀有・香取神社で「夏祭り」のシーンが描かれる（1巻「祭りとフータロー」） <p><カット></p> <ul style="list-style-type: none"> ●扉絵に下町風景が登場する（1巻「気のあうふたり！？」） 	<ul style="list-style-type: none"> ●（祭りは）「下町っ子の血がさわぎまくるのデス」という作者巻末コメント（「ジャンプ」43号） ●ペースが掴めるまでの1～10巻の記憶が「殆どない」と語る作者（「自選こち亀コレクション」26巻巻末） 	模索期
1977		<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業専管水域「200海里」制へ移行 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・王貞治がホームラン世界新記録達成 ・日本赤軍ハイジャック事件 ・『宇宙戦艦ヤマト』ブーム ・日本人の平均寿命が世界一に ・日本でテレビの白黒放送が消滅 	<ul style="list-style-type: none"> ・車田正美『リングにかけろ』連載開始（～81年） ・江口寿史『すすめ！パイレーツ』連載開始（～80年） <p>※「ジャンプ」210万部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読切『最後の狙撃兵』掲載（「ジャンプ」10号） ・デビュー以前に描いた読切劇画『平和への弾痕』掲載（「ジャンプ増刊」4月号） 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載50回突破（「ジャンプ」41号） ・読切『こちら葛飾区亀有公園前派出所+東大一直線』（「週刊少年ジャンプ増刊（以下「ジャンプ増刊」）」1月号、小林よしのりとの合作）、『両さん+東大通』（「ジャンプ増刊」9月号、同じく小林との合作）掲載 <p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンプ・コミックス（JC）『こちら葛飾区亀有公園前派出所』第1巻発売 <p><他媒体>・実写版映画『こちら葛飾区亀有公園前派出所』公開（山口</p>	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●少年時代の懐古（台詞のみ）（4巻「ガマン両津！？」） ●香取神社の祭りの描写（6巻「祭り太鼓」） ●両津の実家周辺（浅草）の初描写（7巻「ふるさととは遠かった」） 	<ul style="list-style-type: none"> ●巻末作者コメントで下町風景を意識していることを思わせるもの：「亀有はその昔、水戸街道ぞいの宿場町。古くからの住人も、多いんだよ！」（「ジャンプ」13号）、「仕事場を探している。住みなれた、ぼくのすきな亀有で、みつけるつもり」（「ジャンプ」23号）、「夕方、亀有の横丁をはいると縁台で夕涼みのおばあちゃん。いい風情だ。」（「ジャンプ」33号） 	模索期

				和彦監督・せんだみつお 主演)			
1978	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中平和友好条約調印 ・新東京国際空港（現成田国際空港）開港 ・イラン革命 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原宿に「竹の子族」登場 ・キャンディーズが電撃解散 <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・隅田川花火大会を再開 ・サンシャイン 60 が完成 		<ul style="list-style-type: none"> ・読切『ひまつぶし探偵団』（『月刊少年ジャンプ（以下「月刊ジャンプ」）1月号）、『たびだち』（『ジャンプ』3・4合併号）、『となりの金ちゃん』（『ジャンプ』12号）、『酷道4000キロ』（『月刊ジャンプ』11・12月号）、『5人の軍隊』（『ジャンプ増刊』8月号）相次ぎ掲載 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載 100 回突破、ペンネームを「山止たつひこ」から「秋本治」へ変更（『ジャンプ』41号） ・増刊に番外編「真夜中のランデブー」（『ジャンプ増刊 4月号』）、「両さんのサマーラベル」（『ジャンプ増刊 9月号』）掲載 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●下町を舞台に大暴れする話の端緒。ジェット機（9巻「スクランブル・レース」）や戦車（9巻「マルチ時代！？」）、潜水艦（11巻「風よ吹け！」）が相次いで登場する。 <p><カット></p> <ul style="list-style-type: none"> ●初の挿絵 B（12巻「土俵の鬼！？」） 	<ul style="list-style-type: none"> ●元来からアクション劇画を志向していた秋本、「こち亀」世界にアクション物の要素を入れはじめる（96年「ジャンプ」49号作者インタビュー、05年『このマンガがすごい』作者インタビュー） ●久里浜を題材とした読切『となりの金ちゃん』の風景が「下町っぽい」ことに触れた作者は、「自然にそうなってしまった」とコメントしている（『秋本治傑作集・中巻』作者解説）。 	<p>転換期①</p> <p>下町世界にアクション物の要素が加わり、現在に通じる破天荒な世界観が確立する。</p>
1979	<p>第二次 オ イ ル シ ヨ ック</p> <p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京サミット開催 ・ソ連のアフガン侵攻 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリーマイル島原発事故起こる ・国立大学共通一次試験開始 ・「ウォークマン」発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆでたまご『キン肉マン』連載開始（～87年） ※「ジャンプ」304万部 	<p><他作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読切『5人の軍隊』（『ジャンプ増刊』8月号）、『柴又戒厳令』（『ジャンプ』12号）掲載 		<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●下町描写が増える。浅草寺の初詣シーン（13巻「年ごろ！？」）のほか、再び浅草に訪れ、後輩を案内する話も（14巻「本官は勤務中！」）。なお本話で両津が「下町に詳しい」ことが明らかになる。続いて、浅草でクラス会を開く話（16巻「クラス会」）も描かれている。 また本格的な神輿の描写（地元商店街のお祭り）も見られ、ここでは両津が「祭り好き」であることも判明する（15巻「祭り気分！」）。 <p><カット></p> <ul style="list-style-type: none"> ●初の扉絵 B（13巻「夢一夜！？」） 	<ul style="list-style-type: none"> ●下町の話を描いたところ、読者の反響が多数届く。「下町人情編」スタート ●読者がそんなに喜んでくれるなら・・・と、下町のことを意識して調べて作品の中に生かすようになる。取材すると意外なことの連続、知らなかったことが色々と出て来て、改めて東京という街の面白さ・奥深さを実感したと語る秋本（96年「ジャンプ」50号作者インタビュー、04年『両さんと歩く下町』）。 ●巻末作者コメントでも、下町を意識していることを思わせるものが散見される。「家から近いので柴又へよくいきます 下町が一番お 	<p>転換期②</p> <p>「下町人情編」スタート</p> <p>作者が意識して下町を描くように。</p>

						ちつくんだ・・・。」(「ジャンプ」31号)、「浴衣姿で浅草へ。」(「ジャンプ」36号)、「時間があると、浅草・柴又へと足がむく。やっぱ下町が一番だね。」(「ジャンプ」45号)、「下町で威勢のいいベランメエ調の人によくあう。気持のいいものだ」(「ジャンプ」46号)	
1980	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン・イラク戦争 ・日本の自動車と鉄鋼の生産高が世界一に <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫オブーム ・初の「嫌煙権」訴訟 ・ダイエーが小売業で初めて年商1兆円を達成 ・モスクワ・オリンピック開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥山明『Dr.スランプ』連載開始(～84年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読切『クリスマス・キャンドル』(「ジャンプ増刊」1月号)、『新元禄泰平記』(「月刊ジャンプ」1・2月号)、『ライブ』(「ジャンプ」14号)掲載 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載200回突破(「ジャンプ」41号) 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●下町の描写がさらに増える。柴又の初登場(19巻「へビーQ!？」のほか、浅草の名所紹介的なストーリー(22巻「カミカゼ・ポリス」)も。また下町の団地を見た両津が「まるでハチの巣だ」と驚く(18巻「おくれてきた年賀状」)など、風刺も加わる。 ●後に定番化する「両津の思い出話(少年時代)シリーズ」の第1弾が描かれる(20巻「ガキ大将!勘吉」)。 		この頃作品そのものの設定が固まり、下町の描写も定着
1981	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーガン政権発足 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローマ法王が来日 ・ピンクレディーが解散 ・キャラクター商品ブーム ・スペースシャトルの打ち上げ成功 	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋陽一『キャプテン翼』連載開始(～88年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読切『パニック最前線』(「月刊ジャンプ」1月号)、『110秒の戦士たち』(「ジャンプ」14号)掲載 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「月刊ジャンプ」2月号に『こちら交機の本田赤のZ追跡中!よろしく!』掲載。「こち亀」のキャラが独立して読切となった珍しい作品 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●当時廃止論議が持ち上がった「都電」を題材にしたストーリー(26巻「ガンコ電車」)が描かれる。 		
1982	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォークランド紛争 ・国鉄運賃5年連続の値上げ ・500円の硬貨化 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルニュージャパン火災 		<ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ読切『白バイファイター夢之丞変化 夢之丞見参!!』(「月刊ジャンプ」6月号)、『白バイファイター 夢之丞変化 南 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載300回突破(「ジャンプ」39号) 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●両津の思い出話第2弾が描かれる(31巻「思い出写真」)。 ●この頃から挿絵Bの登場頻度が多くなる。 		

		<ul style="list-style-type: none"> ・CD プレイヤー登場 ・「テレホンカード」発売開始 ・NEC が PC98 シリーズを発売開始 ・上越新幹線開業 ・日航機が羽田沖に墜落 	の島のパトロー ル』（「月刊ジャン プ」10月号）掲 載 <ul style="list-style-type: none"> ・読切『デスマッ チ』掲載（「ジャ ンプ」11号） 					
1983		<政治・経済> <ul style="list-style-type: none"> ・ロッキード裁判判決下 がる ・大韓航空機撃墜事件 <社会・世相> <ul style="list-style-type: none"> ・東京ディズニーランド 開園 ・「ファミコン」発売 ・三宅島噴火 ・『おしん』大ブーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・武論尊・原 哲夫『北斗の 拳』連載開始 （～88年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ読切 『白バイファイ ター夢之丞変化 ぶったまげカー チェイス』（「月刊 ジャンプ」2月 号）、『白バイフ ァイター夢之丞変 化 地獄の猛特 訓』（「月刊ジャン プ」11月号）掲 載 ・読切『魔海伝説』 掲載（「ジャンプ」 17号） 		<シーン> <ul style="list-style-type: none"> ●佃島に住む両津の祖父登場（35巻「へー イ！モボ！！」） ●下町の玩具企業紹介ストーリー（37巻 「天職！？」） 		
1984	パ ブ ル 前 夜	<政治・経済> <ul style="list-style-type: none"> ・新札発行（1万円・5000 円・1000円） ・「働く主婦」が50%を 超える <社会・世相> <ul style="list-style-type: none"> ・植村直己、遭難 ・ロス疑惑 ・グリコ・森永事件 ・ロサンゼルス・オリン ピック開催 <東京> <ul style="list-style-type: none"> ・有楽町マリオンオーブ ン 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥山明『ド ラゴンボー ル』連載開始 （～95年） ※「ジャンプ」 403万部	<ul style="list-style-type: none"> ・読切『日本一の 世直し男』（「月刊 ジャンプ」2月 号）、『武装化時 代』（「フレッシュ ジャンプ」3月 号）、『こちら人情 民生課』（「月刊ジ ャンプ」11月号） 掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・連載 400 回突破（「ジ ャンプ」39号） 	<シーン> <ul style="list-style-type: none"> ●変わり行く東京に対する不安が語られ はじめる。住情報誌を見て怒ったり（39 巻「もしも我が家が・・・」）、新人の住居 探しに付き合いながら過密を極める東京 に対する不安を語ったりする（40巻「東京 住宅事情」）両津。 ●両津の思い出話第3弾（41巻「両津刑 事！」）が描かれる。 <カット> <ul style="list-style-type: none"> ●扉絵に下町が登場するのは1年ぶり（44 巻「招かれざる客！？」） ●「こち亀教養講座・下町風物詩」と題し た挿絵カットが描かれる（45巻「新名物・ 屋台銀座」）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作中で、変わり行く東京 を不安視する作者（39巻「も しも我が家が・・・」が初） 	転換期③ 変わり行く東 京を不安視す る作者の意識 が作中の投影 される

1985 円高不況	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電信電話公社と専売公社の民営化 ・男女雇用機会均等法成立 ・プラザ合意で円急騰 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日航機が群馬県の山中に墜落 ・阪神タイガース 15年ぶり優勝、フィーバーに ・「8時だョ！全員集合」放送終了 ・科学万博つくば'85開催 ・日本の総人口が1億2000万人を突破 <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・両国国技館が完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・北条司『シティハンター』連載開始（～91年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・読切『ブラ道入門』（ホビーズジャンプVol.5）掲載 ・世界を駆け巡るアクション&コメディ読切『Mr. Clice』第1話「クリス海洋都市ベネツィアへ！！」掲載（「月刊ジャンプ」12月号）、以降2003年まで不定期の読切連載（86年と94年は掲載なし・96～00年は中断） ・『爆笑！！ギャグスター4コマ漫画大会/ある漫画家のバカンス』で競作4コマ（「ジャンプ増刊'85ウインター・スペシャル」） 	<p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでアニメ版放映 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●派出所メンバーが上野・浅草見学（47巻「東京散策！？」） 		
1986 バブル景気はじまる	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京サミット開催 ・老年人口が総人口の10%を突破 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「財テク」ブーム ・チェルノブイリ原発事故起こる ・三原山噴火 ・「激辛」ブーム <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京で地価高騰発生 ・東京の世帯の1/3が「一人暮らし」に 	<ul style="list-style-type: none"> ・車田正美『聖闘士星矢』連載開始（～90年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・読切『ロボット三太郎』掲載（「スーパージャンプ」創刊号） 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載10周年 ・連載500回突破（「ジャンプ」39号） 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●鷲神社「西の市」の様子が描かれる（48巻「ハッピー熊手！」）。 <p><カット></p> <ul style="list-style-type: none"> ●下町探訪扉絵シリーズ①～③が描かれる（51巻・52巻）。 		

1987	パ ブ ル 景 気 本 格 化	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国有鉄道が分割・民営化 ・NTT株上場、フィーバーとなる ・レーガン・ゴルバチョフ会談 ・ソ連でペレストロイカはじまる。 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マドンナ、マイケルジャクソン来日 ・NHK、衛星放送を開始 ・『マルサの女』がヒット <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・後楽園球場閉鎖 		<ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ読切『Mr.Clice ギリシャより愛をこめて』(月刊ジャンプ 1月号)、 『Mr.Clice 香港の銃撃戦』(月刊ジャンプ 6月号)掲載 ・「こちら葛飾区亀有公園前派出所<番外編>」掲載(スーパージャンプ No.3 作画協力・富沢千夏) ・下町の大工一家の娘の活躍を描いた『東京深川三代目』シリーズ第1話「立花一家登場編」掲載(「ジャンプ」37号)。 <p>両津が夜の深川を警邏するシーンも登場(ゲスト出演・台詞あり)</p>		<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「変化を受け容れる」下町像がはじめて描写される(53巻「浅草ラブソディエー」) ●変わり行く東京に驚いたり、嘆いたり、怒ったりする主人公の描写が多数。 ・ベンツで派出所に乗りつけた人間に怒鳴り散らしたり(54巻「列車よいところ」、地上げ騒動について嘆いたり(56巻「のぞき魔生け捕り作戦」、都市開発会社に復讐したり(57巻「両津代表取締役」、銀行に文句を言ったりする両津(58巻「ワクワク忘年旅行」)。 ●思い出話第4弾が描かれる(57巻「浅草物語」)。同話は読者の間でも極めて評価の高い作品である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「時代の変化を受け容れる」という作者のメッセージがはじめて描写される(53巻「浅草ラブソディエー」)。 ●「東京への興味がすごく沸いていた時期」(『秋本治傑作集・下巻』作者解説) 	<p>転換期④</p> <p>作者の核となるメッセージが作中に描写されるようになる。</p>
1988	地 価 狂 乱 が 深 刻 化	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクルート事件 ・「ふるさと創生」で各自治体に1億円配布 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青函トンネルが開通 ・瀬戸大橋が開通 ・アメリカの観光旅行でビザが不要に ・『ドラクエ』ブームが過熱 ・ソウル・オリンピック開催 <p><東京></p>	<p>※「ジャンプ」500万部突破</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ読切『Mr.Clice クリス ハワイへ飛ぶ』(月刊ジャンプ)2月号)、 『Mr.Clice オリエン特急行の休日』(月刊ジャンプ)11月号)掲載 ・『東京深川三代目』シリーズ第2話「江戸下町祭編」掲載(「ジャ 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載 600回突破(「ジャンプ」39号) <p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第50巻発売 ・愛蔵版『こちら葛飾区亀有公園前派出所～下町奮戦記～』発売(「野球狂の男」書き下ろし) 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●下町そのものを題材としたストーリーが登場(61巻「なつかしの駄菓子屋講座」、63巻「わが町・上野」など)。ほか地価高騰の風刺(60巻「東京駐車場事情」)も見られる。 ●思い出話第5弾(59巻「おばけ煙突が消えた日」、第6弾(61巻「我がなつかしき少年時代」)が描かれる。なお第6弾はお祭りを題材としたもので、連載600回記念として掲載。 <その他> ●派出所の隣に設置されていた「ロボット派出所」が、読者からの抗議により撤去さ 	<ul style="list-style-type: none"> ●作者のコメント：「先日、じっくりと下町を取材。子どもの頃遊んだなつかしい風景をみて執筆意欲も増します」(「ジャンプ」15号巻末)、「両さんの上野紹介編いかがでしたか?ほかの下町もやりたいので、ぜひ感思きかせて下さい!」(「ジャンプ」51号巻末)など、好んで下町を描写していることが伺える。 ●子どもの頃の体験が生か 	<p>下町の描写が急増する</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・東京圏の公示地価、前年比上昇率が68.6%に ・東京ドーム柿落とし 		<p>ンプ」29号、以降は91年まで年1回のペースで「スーパージャンプ」誌上に読切連載)、深川祭に両津・中川・麗子がゲスト出演(台詞なし)</p>		<p>れる(理由は「下町情緒がなくなるから」)。 ●この頃から刊行される単行本の表紙に「下町風景」が登場(53巻～)。</p>	<p>されている「おぼけ煙突が消えた日」(59巻)と「勝鬨橋開け」(71巻、90年)は特に思い入れが深いと述べる作者(96年「ジャンプ」52号「連載20年作者特別インタビュー」)</p>
1989	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和天皇崩御、「昭和」から「平成」へ <政治・経済> ・消費税スタート(税率3%) ・参議院議員選挙で「マドンナ旋風」 ・1年で首相が3人(竹下、海部、宇野) ・ベルリンの壁が崩壊 ・マルタ会談(米ソ冷戦終結宣言) ・日経平均株価が過去最高に <社会・世相> ・手塚治虫、松下幸之助、美空ひばり死去 ・天安門事件発生 ・金融機関で「週休2日制」本格化 ・CMの「24時間戦エマスカ！」が流行語に ・「ゆく年くる年」が各局独自編成に変更 		<p><他作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ読切『東京深川三代目 深川望郷編』(「スーパージャンプ」2月号)、『Mr.Clice クリス F1に参戦！？』(「月刊ジャンプ」5月号)掲載 		<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●下町描写がさらに増える。「下町散歩シリーズ」4部作がスタートし、両津が補欠員勤務として下谷の駐在所へ異動(64巻)。三社祭や佃島の祖父のエピソード、駄菓子屋を題材にした話も(65巻「大江戸神輿大騒動!!」「佃のじいちゃん大追跡」、63巻「お正月は駄菓子屋で!」)。ほか地価高騰の風刺(63巻「東京土地なし派出所」)など。 <p><カット></p> <ul style="list-style-type: none"> ●扉絵Bが急増する(67巻「笑撃の大運動会」～)。 <p><その他></p> <p>シリーズ読切『東京深川三代目 深川望郷編』で「地上げ」が題材に取り上げられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●作者のコメント:「今シリーズ(引用者注:「下町散歩シリーズ」4部作、64巻)の取材のために、改めて下町散策に。昔の景観がのこっていて安心しました!」(「ジャンプ」11号)、「次号は巻頭カラーで浅草三社祭をやります!ひさびさの下町編!みんな楽しみにしててネ」(「ジャンプ」24号)など、下町を積極的に描く作者の意識が分かる
1990	<ul style="list-style-type: none"> <政治・経済> ・株暴落、バブル景気に陰り ・東西ドイツ統一 <社会・世相> ・『ちびまる子ちゃん』 	<ul style="list-style-type: none"> ※「ジャンプ」600万部突破 ・井上雄彦『スラムダンク』連載開始(～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ読切『東京深川三代目 大江戸火消し編』(「スーパージャンプ」2月号)、『Mr.Clice 	<ul style="list-style-type: none"> ・連載700回突破(「ジャンプ」40号) 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「世の中時代と共に変わるんだよ。この浅草だって」と両津に語る同級生(70巻「和服リバイバル」)。 ・思い出話第7弾(69巻「両さんメモリアル」)、第8弾(71巻「勝鬨橋ひらけ!」) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「連載xxx回」のメモリアル話数では過去の思い出話を書くよう意識してきたとする作者(96年「ジャンプ」52号「連載20年作者特別インタビュー」)、作成に

	がブームに ・「ファジー家電」相次ぎ発売 <東京> ・山手線の各駅に「自動改札」導入	96年) ・富樫義博『幽☆遊☆白書』連載開始(～94年)	エジプトの大いなる遺産」(「月刊ジャンプ」5月号)掲載		が描かれる。第8弾は連載700回記念として描かれる(以降「思い出話」は原則として連載xxx回記念「少年時代編」として描かれるようになる)。	長時間を要するので映画を作っているように緊張すると語る。 ●「勝鬨橋ひらけ！」掲載時の巻末コメント:「勝鬨橋は一度かいてみたかったテーマです。自分にとっても思いである橋なのです。」(「ジャンプ」40号)	
1991	バブル崩壊 <政治・経済> ・バブル経済崩壊、金融不祥事の続発 ・湾岸戦争勃発 ・ソ連崩壊 <社会・世相> ・雲仙・普賢岳火砕流 ・信楽高原鉄道事故 ・「若貴」ブーム ・宮沢りえ「Santa Fe」フィーバー <東京> ・東京の市内局番4桁化 ・東北・上越新幹線東京駅開業 ・都庁、新宿に移転		・シリーズ読切『東京深川三代目 深川慕情編』(「スーパージャンプ」2月号)、 『Mr.Clive クリスと9人の探偵団』(「月刊ジャンプ」5月号)掲載 ・読切『鷹が飛ぶ』前後編を読切連載(「スーパージャンプ」No.8～9)	<連載> ・連載15周年 <単行本> ・累計5000万部突破	<シーン> ●連載750回記念・少年時代編(71巻「浅草七ツ星物語」)が描かれる。		
1992	平成不況 <政治・経済> ・PKO協力法成立 ・新党ブーム ・天皇皇后両陛下、初の中国御訪問 ・17年ぶりに公示地価下落 ・平成不況の深刻化 ・佐川急便事件 ・改正大規模小売店舗法施行 <社会・世相> ・きんさん・ぎんさんブーム ・毛利さん、宇宙へ		・『こちら人情民生課』(84年)の続編、ヤクザの人情コメディシリーズ読切『花田留吉七転八倒PART1 嗚呼！涙の画家修業編』(「スーパージャンプ」No.1)、 『花田留吉七転八倒PART1～望郷～鬼退治編』(「スーパージャンプ」No.16)掲載	<連載> ・連載800回突破(「ジャンプ」43号) ・特別読切「こち亀・番外編 スーパー・ボリス ウイメンズストーリー マリア&レイコ」掲載(「ジャンプ」5号)	<カット> ●扉絵Bに被写体のキャプションが挿入され、見るだけの扉絵に「風景案内」の要素が付加される(78～80巻、82巻、83～85巻[1993年]) ●扉絵Bで「隅田川にかかる橋シリーズ」①～⑩開始(81・82巻)	●「隅田川にかかる橋シリーズ」までは、本編の取材の写真でいいものがあればただ扉絵にするだけだったが、シリーズ以降は扉絵のために取材をするようになったとする秋本。取材の過程で、「下町の懐かしい風景がどんどん東京から消えていくことに気づき、「消える前に描いておかなければ」「消えてしまってからでは読者に伝えることが出来ない」と考え、描写を加速させたとする(『カメダス』	転換期⑤ 「消え行く風景を残すために」カットの描写が行われるようになる 以降、下町描写は安定化

	<ul style="list-style-type: none"> ・ロス暴動 ・新幹線「のぞみ」登場 ・長谷川町子死去 ・バルセロナ・オリンピック開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・『Mr.Clice ドイツ古城での対決！！』(「月刊ジャンプ」5月号)掲載 			「秋本治・ランダム・トーク」および『両さんと歩く下町』巻末)
1993	<ul style="list-style-type: none"> ・皇太子御成婚 <政治・経済> ・非自民連立政権樹立、55年体制が終焉 ・マーストリヒト条約発効、ECはEUへ ・ゼネコン汚職 ・不況が長引きリストラ、雇用不安拡大 <社会・世相> ・冷夏・豪雨でコメが大凶作、米騒動に発展 ・Jリーグ開幕 ・『クレヨンしんちゃん』ブーム <東京> ・江戸東京博物館開館 		<ul style="list-style-type: none"> <他作品> ・シリーズ読切『花田留吉七転八倒 浮世床屋修行編』掲載(「スーパー・ジャンプ」12号) 	<ul style="list-style-type: none"> <他媒体> ・大全集「Kamedas」発売 	<ul style="list-style-type: none"> <シーン> ●連載 800 回突破記念・少年時代編 (82巻「光の球場!」、同 850 回突破記念・同編 (87 巻「友情の翼!」) が描かれる。 	●「下町そのものが僕の大事な趣味」(『カメダス』『秋本治・ランダム・トーク』)
1994	<ul style="list-style-type: none"> <政治・経済> ・歴史的な自社連立政権樹立 ・就職氷河期 <社会・世相> ・ロサンゼルス大地震、北海道東方沖地震、三陸はるか沖地震 ・中華航空機墜落 ・松本サリン事件 ・安達祐美「同情するならカネをくれ」 ・全国で記録的な猛暑、水不足深刻化 ・イチロー、年間 200 本安打達成 ・酸性雨、日本でも被害確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・和月伸宏『るろうに剣心』連載開始(～99年) 	<ul style="list-style-type: none"> <他作品> ・シリーズ読切『花田留吉七転八倒 ボンネットバス郷愁編』掲載(「スーパー・ジャンプ」2号) ・ブラジルから日本にやってきた女性が下町の廃業寸前の銭湯の看板娘となるシリーズ読切『いいゆだね! 一番湯 看板娘がやってきた』(「スーパー・ジャンプ」14号)、『いい 	<ul style="list-style-type: none"> <連載> ・連載 900 回突破(「ジャンプ」48号) ・増刊「こち亀 MAX」(JUMP SELECTION MAX) 刊行(全 6 弾、94年3誌・96年3誌、テーマ別) 	<ul style="list-style-type: none"> <シーン> ●「下町文化はごった煮」と語る両津(90巻「ペット・マンション!」)。 ●千住の素盞雄神社のお祭りで神輿担ぎに参加する両津らの描写。(89巻「大江戸下町祭」) 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画文庫ブーム ・「価格破壊」ブーム ・関西国際空港開業 		<p>ゆだね！ 二番湯 千客万来大騒動』（「スーパージャンプ」15号）、『いいゆだね！ 三番湯 思い出のサンバカーニバル』（「スーパージャンプ」23号）掲載</p>			
1995	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・円高基調、一時1ドル80円突破 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災 ・地下鉄サリン事件 ・「ウィンドウズ95」でパソコンフィーバー ・インターネットがブームになる ・PHS サービス開始 ・『DRAGON BALL』連載終了 <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆりかもめ」開通 ・東京都知事に青島幸男選出、都市博中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・『ドラゴンボール』連載終了 ※「ジャンプ」過去最高の653万部 	<p><他作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ読切『Mr.Cllice 電脳要塞（サイバーシティ）で大暴れ！！』掲載（月刊ジャンプ」9月号） 	<p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集英社文庫『こちら葛飾区亀有公園前派出所』（自選こち亀コレクション）刊行開始（～1999年、全26巻） <p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説版『両さんの下町少年時代編』（小山高生著）発売（収録話は「浅草七ツ星物語」（76巻）、「光の球場！」（82巻）、「勝鬨橋開け！」（71巻）） 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●連載95回記念・少年時代編（97巻「浅草シネマパラダイス」）が描かれる。 ●上野案内をするストーリー。読者が、作中で紹介された小駅を訪れ、落書きをしたという逸話も残る（95巻「幻！？の博物館動物園駅」） ●浅草サンバカーニバルの描写（95巻「浅草サンバカーニバル」（後編）） ●亀有の歴史を回想するストーリー（92巻「亀有昔日・・・」） 	
1996	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・衆院で初の小選挙区比例代表並立制選挙 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の豊浜トンネルで崩落事故 ・イギリスで狂牛病発生 ・集団食中毒 O-157 惨禍 ・薬害エイズ事件捜査進む ・藤子・F・不二雄、渥美清死去 ・大リーグで野茂英雄が 	<p><ジャンプ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高橋和希『遊☆戯☆王』連載開始（～04年） ※「ジャンプ」588万部 		<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載20周年 ・連載1000回突破（「ジャンプ」51号）、本編と別に特別読切掲載 ・ジャンプ本誌上で「こち亀・超記録全史」などのカウントダウン企画を実施 <p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第100巻発売 ・JC『こちら葛飾区亀有公園前派出所 読者が 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●不忍池紹介ストーリー（98巻「不忍池の思い出」） ●佃島の祖父を訪ねる両津。祖父は長屋を立ち退いていた。怒る両津に対し、「ビルが建とうがマンションが出来ようが町内のつながりには全然関係ない」とまったく気にしない両津の祖父（99巻「佃島慕情」） ●連載1000回記念・少年時代編（102巻「古都の走馬灯」）が描かれる。 ●佃島本祭りで神輿担ぎに参加する両津（101巻「佃島本祭り取材！」） 	

		<p>ノーヒットノーラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋の羽生名人、7冠達成 ・ナイキシューズが爆発的流行 ・「プリント倶楽部」人気に ・携帯電話・PHSの普及進む ・アムラー、「チョコベリバ・チョコベリグ」が流行 ・アトランタ・オリンピック開催 		<p>選ぶ傑作選 特別注文(ベッチュー)』発売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増刊『こち亀デジタル』発売 <p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フジテレビでアニメ化 ・小説版『両さんの下町少年時代編』(小山高生著) 発売(収録話は「浅草物語」(57巻)、「浅草シネマパラダイス」(97巻)、「友情の翼!」(87巻)) <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・営団地下鉄スタンプラリー'96「両さんの東京タイムトンネル」開催 ・浅草サンバカーニバルに「こち亀サンバチーム」が出演 		
1997	金融危機	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税率5%に ・香港、中国に返還 ・総会屋利益供与事件 ・金融機関破綻相次ぐ ・地球温暖化防止京都会議開催 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・諫早湾干拓事業騒動 ・「ナホトカ号」重油流出事故 ・「たまごっち」「ポケモン」『もののけ姫』『失楽園』が大ブーム <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京湾横断道路開通 	<p>・尾田栄一郎『ワンピース』連載開始(「ジャンプ」27号) (~連載中)</p>	<p>・読切『R・P・G』掲載(「ジャンプ」27号)</p> <p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別読切『こちらインターネットホームページ開設局!!』掲載(「こちら葛飾区亀有公園前派出所デジタル」) <p><イベント></p> <p>浅草 ROX で「こち亀大展覧会 両さんのいる下町」を開催(展示・グッズ販売など)</p>		
1998		<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本版金融ビッグバン開始 		<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別読切「こち亀デジタル'98 インターネット 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●連載1050回記念・思い出話(108巻「遠い放課後」)が描かれる。同話で両津の出 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・「貸し渋り」深刻化 ・テポドン、日本へ向けで発射 ・実質経済成長率が-2.2%に <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレー砒素混入事件 ・「キレる」少年の社会問題化 ・環境ホルモン問題 ・「100円ショップ」広がる ・黒澤明死去 ・携帯電話、1年で1000万台増加 		<p>まるわかり講座」掲載（「赤マルジャンプ'98WINTER」）</p> <p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・増刊『Comic Kamedas』刊行（以降2001年まで計9冊、テーマ別特集、うち1冊は特別版「Comic Akidas」で「こち亀」と無関係） <p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメ放送100回達成 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こち亀スタンプラリー」開催 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京みやげとして、「こち亀」のキャラを模った「もんじゃ焼きせんべい」「東京薄皮草まんじゅう」「青山カマンベールチーズケーキ」が発売開始。また亀有で「両さんどら焼き」発売。 	身小学校は少子化により閉校となる。			
1999	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州単一通貨「ユーロ」開始 ・大手金融機関に公的資金投入 ・NTTを分割・再編 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海村原発臨海事故 ・NTTドコモ「iモード」スタート ・携帯電話の普及を受け、番号11桁化 ・「学級崩壊」が流行語 ・『だんご三兄弟』 ・長野オリンピック開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほったゆみ（原作）・小畑健（漫画）・梅沢由香里（監修）『ヒカルノキ』連載開始（～03年） ・岸本斉史『NARUTO』連載開始（～連載中） 	<p><他作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初の少女漫画、『N少女（ネットエンジェル）いずみ』掲載（「りぼん」2月号） 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載1100回突破（「ジャンプ」6号） ・「りぼん」2月号付録に特別読切掲載 <p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画『こち亀 THE MOVIE』公開 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台上演（脚本・演出・主演：ラサール石井） ・「こち亀ウォーク・スタンプラリー'99」開催 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●連載1100回突破記念・少年時代編（114巻「トロバス物語」）が描かれる。 ●初めて全編を通じた亀有案内が描かれる（117巻「両さんの亀有歴史散歩」）。 ●作品の新展開となるキャラ「擬宝珠纏」が登場。以降、神田の寿司店（「超神田寿司」）が作品の第二本拠となる（118巻「江戸っ娘・擬宝珠 纏」）。 ●神田祭に参加する両津（118巻「江戸っ娘・擬宝珠 纏」）。以降5年連続で祭りの描写。 	<ul style="list-style-type: none"> ●連載20年を超え、「いつ終わってもいいように、今まで試していなかったことをやってみよう」と考えるようになった作者（05年『このマンガがすごい！2006・オトコ版』インタビュー 秋本治）は、作中に寿司屋を営む新下町一家を登場させることで、両津がどのように動くか「実験」を始める。 	<p>転換期⑥</p> <p>作品の第二本拠・神田が登場</p> <p>「こち亀」が新しい下町世界の実験表現の場として機能する</p>

2000	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州単一通貨「ユーロ」開始 ・企業倒産、戦後最悪に ・介護保険制度スタート <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄日比谷線脱輪事故 ・17歳の少年による凶悪犯罪が続発する ・コンコルド墜落事故 ・二足歩行ロボット本格的に登場 ・全国でアウトレットモールのオープン相次ぐ ・シドニー・オリンピック開催 <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都営地下鉄大江戸線が開通 			<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・番外「Kochikame2003年」掲載（「eジャンプ」1月18日増刊） <p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集英社文庫『こちら葛飾区亀有公園前派出所ミニ』（こち亀コレクション アンコール）刊行（全4巻） <p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメ放送 200回達成 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●神田・御茶ノ水界限のストーリーが急増する（121巻「聖橋白線流し」他）。 ●神田祭の描写（121巻「聖橋白線流し」） 		
2001	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小泉内閣、空前の内閣支持率を記録 ・米同時多発テロ ・不審船事件 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄日比谷線脱輪事故 ・歌舞伎町ビル火災 ・小学校に刃物男が乱入 ・少年による凶悪犯罪が多発 ・『千と千尋の神隠し』が大ヒット ・「Suica」登場 	<ul style="list-style-type: none"> ・『Mr.Clice』の連載復活（03年まで季節読切連載）。復帰第1話である「MIAMI FLIGHT2001」は200ページの読切（「月刊ジャンプ」2月号）、復帰第2話は「您好（ニーハオ）！中国初任務（ミッション）」（「月刊ジャンプ」9月号） 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載 25周年 ・連載 1200回突破（「ジャンプ」10号） <p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ向け廉価版コミック SHUEISHA JUMP REMIX（以下「SJR」）で『こち亀 SEVEN ELEVEN』および『こち亀 '76～2001』、2002年まで計27冊刊行 <p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大全集「Kamedas2」発売 ・アニメ化5周年 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台版上演 <p><受賞></p>	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●女性軍人のジョディーに寿司技術の伝承を認める寿司屋の女将（「封建的な世界だから」と否定的に見る両津と、「構わないよ」と受け入れる女将）の描写（125巻「超神田寿司の”のれん分け”」）、また「神田明神」「浅草寺」の建物の材質を巡って両津と口論になるが、女将は「肝心なのは中身だよ」と諭す（126巻「祭りの日に・・・纏の少女時代編」）。 ●神田祭の描写（126巻「祭りの日に・・・纏の少女時代編」） 			

				・第30回日本漫画家協会賞		
2002	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日朝首脳会談 ・日経平均株価、バブル崩壊後最安値更新 ・ペイオフ一部解禁 ・衆議院議員、疑惑で相次ぎ辞職 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・拉致被害者5人が帰国 ・サッカー日韓ワールドカップ共催 ・「タマちゃん」フィーバー ・ノーベル賞、初のダブル受賞 ・牛肉産地偽装など食品不正表示相次ぐ ・携帯電話の対人口普及率62%に 		<p><他作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節読切連載『Mr.Clice～南国の対決！！星に願いを・・・』（「月刊ジャンプ」2月号）、および『Mr.Clice CLICE IN THAILAND』（「月刊ジャンプ」6月号）、『Mr.Clice 爆走！！機関車VS.ハイテク超特急』（「月刊ジャンプ」9月号） 	<p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SJR『こち亀毎月大せれくしょん1月～12月』発売 ・季節増刊号刊行開始（テーマ別、継続中） 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●連載1250回突破記念・少年時代編（130巻「東京銭湯絵巻」）が描かれる。 ●三社祭の描写。神輿を担ぐ両津等（131巻「檸檬初三社祭」）。 	
2003	<p><政治・経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙の場で「マニフェスト」が流行 ・サラリーマンの医療費負担3割に ・「平成の大合併」が加速 <p><社会・世相></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『バカの壁』がベストセラーに ・新型肺炎SARSの流行 ・「オレオレ詐欺」被害広がる ・阪神タイガースが18年ぶり優勝 <p><東京></p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸開府400年 ・六本木ヒルズが開業 		<p><他媒体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメ放送300回突破 ・映画『こち亀 THE MOVIE2』公開 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台版上演 ・フジテレビ「お台場冒険王」で関連展示（昭和30年代の下町再現） <p><他作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節読切連載『Mr.Clice Queen Clice』（「月刊ジャンプ」2月号） 	<p><連載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連載1300回突破（「ジャンプ」14号） <p><単行本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SJR『こち亀月極超せれくしょん1月～12月』発売 	<p><シーン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●連載1300回突破記念・少年時代編（136巻「ぼくたちの東京タワー！」）掲載。 ●神田祭で神輿を担ぐ両津（137巻「暴走神田祭」） 	

<p>2004</p>	<p><政治・経済> ・自衛隊をイラクに派遣 ・紙幣切り替え(1万円・5000円・1000円) ・消費税の内税表示義務化 <社会・世相> ・新潟中越地震、スマトラ島沖地震 ・スペインで列車や駅の同時爆破テロ ・鳥インフルエンザ伝播 ・プロ野球史上初のストライキ、球団買収騒動 ・大リーグでイチローが最多安打記録更新 ・「冬のソナタ」、韓流ブーム ・アテネ・オリンピック開催 <東京> ・帝都高速度交通営団民営化</p>			<p><単行本> ・SJR『両津勘吉座長プロデュース! 秋本治笑劇場』1~5号発売(一部号は「こち亀」と無関係) <他媒体> ・集英社新書『両さんと歩く下町』刊行 ・アニメのレギュラー放送終了(以降不定期放映)</p>	<p><シーン> ●連載 1300 回突破記念・少年時代編(141 巻「希望の煙突」)掲載。</p>	<p>●著書『両さんと歩く下町』で下町への想いを総括的に綴る作者(※)</p>	
<p>2005</p>	<p><政治・経済> ・与党の議席占有率が戦後最高に ・郵政民営化法案を可決 ・道路公団分割民営化 ・中国で反日デモ激化 ・日本の人口が初の自然減 <社会・世相> ・福知山線脱線事故 ・ロンドン同時爆破テロ ・航空機トラブル相次ぐ ・ヒルズ企業とメディアとの買収攻防 ・愛知万博開催 ・アスベスト問題表面化 ・耐震強度偽装問題が明</p>	<p>※「ジャンプ」 295 万部</p>		<p><連載> ・連載 1400 回突破(「ジャンプ」17 号) <単行本> ・1 億 4000 万部突破 ・カラー原稿再現作品集『こち亀 千両箱』発売 ・SJR『こち亀月例特選』1 月~12 月』発売 <イベント> ・隅田川で「こち亀水上バス」航行 ・浅草で「スタンプラリー 夏の下町両さん祭り '05」開催 ・「こち亀の石碑」除幕</p>	<p><シーン> ●連載 1400 回突破記念・少年時代編「出会いの橋」が描かれる。続編「出会いの橋 ふたたび」も(「ジャンプ」35 号)。 <カット> ●扉絵 B「水と緑の故郷(ふるさと)・葛飾 扉絵シリーズ」開始(「ジャンプ」51 号 ~ 2006)</p>		

	るみに ・ウェブログ、SNS が普及		式（トークショー・「昔あそび道場」など） <その他> ・浅草神社に「こち亀の石碑」が建立される <受賞> ・小学館漫画賞少年向け部門			
2006	<政治・経済> ・ライブドア・ショック <社会・世相> ・各地で記録的豪雪		<連載> ・連載 30 周年 <単行本> ・第 150 巻発売（予定） ・SJR『月イチ 2006 極上チョイス 1 月～12 月』発売（一部予定） <その他> ・JR 亀有駅前に「両津勘吉」の銅像建立			

※2004 年に秋本が著書で綴った下町への想い

- ・下町とは「懐かしさにあふれた場所」（pp. 12, 50）
- ・「新しさよりも懐かしさを選び取るというのは、これからの街づくりの方向性として不可能とは思えない」（p. 162）
- ・「肝心なのはやっぱり住んでいる人たちで、そういう意味では街は箱に過ぎないというか、入れ物ですよ。だから建物なんかどんなに変わっても、古いものを残していこうという住民の気持ちが変わらない限り、どこかに懐かしさは残っていくのではないか」（p. 94）
- ・「それがいいものであれば、新しいものを取り入れる一方で古いものも残していくというバランスの取り方。そういう形で未来に向かって懐かしいものを引き継いでいく方法が、僕にはまだあると思う。（中略）懐かしいものを大事にして残すようなことを続けていけば、どんどん東京が新しくなる一方で、下町もまた残るのではないか。そのためにも、僕は『こち亀』で下町を描き続けていきたい」（p. 222）
- ・「懐かしい時代や風景をもちろん今の子どもたちは知りませんが、『こち亀』のなかに描くことで知ってもらえるだろうし、興味をもってもらうこともできるかもしれない。あるいは僕と同じ世代のお父さんお母さんに読んでもらって、懐かしんでもらうだけでもいい。とにかく今はもうないものを描くことで、それらを思い起こしたり、忘れないようにすることができるかもしれない。笑いの合間にそんな役割を少しでも『こち亀』で果たせたらいい」（pp. 22-24）
- ・『こち亀』で下町を描くというよりも、下町が僕に『こち亀』を描かせている」（p. 26）